※令和４年度以降入学生用

学校番号	208

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　言語文化(第一学習社)						
副教材等	古文単語と一緒に学ぶこれからの古典文法〔改訂版〕(尚文出版) アシスト古典文法用言編(啓隆社)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語では、言語に関わる「読む」「書く」「聞く」「話す」力を伸ばしましょう。
・様々な文章を幅広く読み、その内容を理解して、要約する力をつけましょう。
・また、他者に敬意を払い、他者の話を良く聞くとともに、正しく意思を伝え合うために、どのように話せば効果的なのかを考え、コミュニケーション力を高めましょう。
・古典の分野では様々な作品に触れ、昔の人の心情・考え方や文化を知り、現代のそれらと比較・考察しましょう。そのためにも、基本的な文法・語彙力の向上を目指しましょう。
・授業を真剣に聞くことで「聞く」力は伸びます。特に私語は他人の迷惑ともなるので厳禁です。また、様々な提出物については必ず期限を守って提出するようにしましょう。
・小テストの実施については、予告をします。定期テストと同様に、計画を立てて臨みましょう。

２　学習の到達目標

（１）文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり要約・詳細をまとめたりすることを通して社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）文章に描かれた人物の心情や情景などを表現に即して読み味わう中で、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）作品を読むことを通して、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文入門 ［教材］ 古文の学習	a:古文を読むために必要な歴史的仮名遣いを理解している b[書]:我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 c:これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	古文入門 ［教材］ 児のそら寝 古文を読むために1	a:主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 b[話/聞]:古文の言葉に慣れ、正しく音読している。 c:積極的に説話を読み味わい、話のおもしろさを表現しようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	古文入門 ［教材］ 絵仏師良秀 古文を読むために2	a:主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。 b[読]:古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。 c:積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）

※令和４年度以降入学生用

	古文入門 ［教材］ なよ竹のかぐや姫	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。用言の活用を理解し、基本的な助動詞・助詞の意味用法について理解している。作品について、文学史上の基本的な知識を持っている。 b[読]:伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 c:初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
2学期	歌物語 ［教材］ 伊勢物語 古文を読むために3	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 b[読]:話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 c:歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	随筆(一) ［教材］ 枕草子 古文を読むために4	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 b[読]:自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c:随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	随筆(二) 徒然草 古文を読むために5	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。主として助詞について文語のきまりを理解する。 b[読]:我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 c:短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	近現代の詩歌 その子二十	a:我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 b[読]:我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 c:短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	近現代の詩歌	a:折句を用いて、感じたことを短歌で表す。	行動の観察	行動の観察	行動の観察

※令和４年度以降入学生用

	〔言語活動〕折句を用いて短歌を作る	b[書]:我が国の言語文化に特徴的な折句の表現の技法とその効果について理解する。感想文の作成など、書く活動を適宜行う。 c:進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。	記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	記述の確認・分析 定期考査	記述の確認（ノート、プリント等） 短歌の提出
	伝統と文化 人形浄瑠璃文楽－三業一体の技	a:言葉には、文化の継承を支えるはたらきがあることを理解する。 b[話／聞]:我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、関連する事項について調べたことを整理して説明資料にまとめ、発表する。 c:継承されてきた言語文化に興味をもち、学習課題に沿って、調査した内容を説明資料にまとめようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 発表・報告
	軍記物語 平家物語 〔古典のしるべ〕和漢混交文 古文を読むために6	a:「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。主として敬語について文語のきまりを理解する。 b[読]:軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 c:作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
3学期	古典の詩歌 ［教材］ 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 古文を読むために7	a:我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 b[読]:我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、和歌の特色を捉える。和歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 c:和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	古典の詩歌 ［教材］ 奥の細道 〔古典のしるべ〕『奥の細道』と和漢の文学	a:我が国の言語文化に特徴的な俳諧の表現の技法とその効果について理解する。「古典のしるべ」と読み合わせて、我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 b[読]:俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 c:和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）

※令和４年度以降入学生用

	漢文入門 〔教材〕 漢文の学習 訓読に親しむ(一)(二)(三) 漢文を読むために(一)(二)(三)	a:訓読や書き下し文のきまりについて理解している。 b[書]:例文の内容や故事成語の意味を理解し、正しく書き下し、音読できている。 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 c:漢字や漢文に対する興味・関心を持って取り組んでいる。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	故事成語 ［教材］ 漁父之利 狐借虎威	a:訓読の決まりを理解している。句法や助字を理解している。故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 b[読]:本文を正しく読み、書き下し文にしている。故事成語の意味について理解している。 c:故事成語への理解を深めようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１５　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　７５　）時間